

大阪大学では「八尾市における特定健康診査・がん検診の評価およびレセプトデータを活用した循環器疾患・がん発生状況の把握に関する研究」を実施しております。

【研究課題名】

八尾市における特定健康診査・がん検診の評価およびレセプトデータを活用した循環器疾患・がん発生状況の把握に関する研究

【研究期間】

倫理委員会承認後から2022年3月31日まで

(八尾市との調整により、倫理委員会の承認のもと、延長することがあります)

【研究の意義・目的】

健診受診の有効性の検討は降圧薬などが十分に開発されていなかった時代に多く検討されましたが、現在の医療事情とは大きく異なるため、近年の状況を考慮した検討が必要です。また、勤労世代の多くが受診している職域のがん検診の精度管理は実施されておらず、精度管理手法の開発が必要と考えられます。これらを達成することにより、特定健診やがん検診の適正化を図り、国民の健康増進に寄与することが本研究の目的です。

【研究方法】

研究方法は、八尾市個人情報保護審議会の承認を経て、国民健康保険・後期高齢者医療制度に加入している八尾市民の特定健診データ、がん検診データ、レセプトデータ、被保険者情報を八尾市より提供を受けます。これらのデータを用いて、①ある時点における特定健診受診の有無とその後の循環器疾患発症との関連の検討、②がん検診で要精検の判定となった者がその後精密検査を受けているかをレセプトデータにより把握するための判定方法開発、③レセプトデータを用いたがん検診精度管理指標の算出と従来指標の比較、を行います。加えて、循環器疾患予防やがんの早期発見のための特定健診やがん検診について、これらの対策が必要な集団にリーチできているかを特定健診データ、がん検診データ、レセプトデータから評価し、保険者においてデータを活用した効果的かつ効率的な保健事業の推進を促進するための地域分析手法の開発も行います。

本研究から得られた結果をより多くの人に当てはめられるようにすること、また、得られた結果の解釈を深めるため、「茨城県筑西市における保健事業を主体とした生活習慣病予防対策に関する疫学研究（承認番号：13482(835)-6）」、「大規模コホートデータを用いた生活習慣病リスクの定量化に関する研究：茨城県神栖市における保健事業を主体とした生活習慣病予防対策に関する疫学研究（承認番号：14285-8）」において、同様の検討方法により得られた結果と比較します。加えて、各研究で得られた結果を統計学的方法で一つにまとめた結果も計

算します。

【個人情報の保護について】

本研究では、八尾市より特定健康診査、がん検診、レセプト情報、被保険者情報の提供を受けて研究を実施します。提供を受けた資料を学術研究以外の目的に使用することはありませんのでご安心下さい。提供を受けた資料には個人情報として、氏名、生年月日、住所、被保険者番号などが含まれます。個人情報は大阪大学において厳重に管理し、分析には個人情報を番号などに置き換えて匿名化したデータベースを用います。集計・解析は大阪大学において行います。

【研究結果の公表】

研究結果は集団全体の分析結果として学会や学術雑誌で発表するとともに、厚生労働科学研究費などの報告書として報告いたします。また、八尾市に還元します。八尾市のホームページや広報等に概要が掲載されることがあります。なお、個人の結果を公表することはありません。

したがって、この研究により、住民の皆さまが不利益を受けたり、危険性が生じる可能性はまずありません。しかし、ご自身が分析の対象となることを希望されない方がおられましたら、ご本人またはその代理人の求めに応じて、それ以降に作成する報告書などの成果物において、分析から除外するなどの対応ができますので、下記へお問い合わせ下さい。

【研究代表者】

大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学 教授 磯博康

【本研究に関する問い合わせ先】

大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学（担当：助教 村木功）

電話番号 06-6879-3915

メールアドレス muraki@pbhel.med.osaka-u.ac.jp